



2023年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年7月7日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東
 コード番号 6555 URL <https://www.msandc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 並木 昭憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 日野 輝久 TEL 03(5649)1185
 四半期報告書提出予定日 2022年7月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年2月期第1四半期の連結業績 (2022年3月1日～2022年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第1四半期	457	47.5	25	-	24	-	20	-	20	-	14	-
2022年2月期第1四半期	310	50.1	△52	-	△52	-	△27	-	△26	-	△29	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年2月期第1四半期	4.70	4.64
2022年2月期第1四半期	△5.91	△5.91

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年2月期第1四半期	3,673	2,847	2,877	78.3
2022年2月期	3,901	2,866	2,895	74.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期	-	0.00	-	8.00	8.00
2023年2月期	-	-	-	-	-
2023年2月期(予想)	-	8.00	-	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年2月期の連結業績予想 (2022年3月1日～2023年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	996	27.2	88	62.9	87	66.9	52	32.2	53	27.9	円 銭
通期	2,215	14.5	373	17.8	372	18.7	240	17.0	240	16.2	55.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年2月期1Q	4,465,000株	2022年2月期	4,465,000株
② 期末自己株式数	2023年2月期1Q	125,369株	2022年2月期	128,169株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年2月期1Q	4,338,140株	2022年2月期1Q	4,415,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、2022年3月21日にまん延防止等重点措置が全国的に解除されたことにより、新型コロナウイルス感染症に伴う悪影響は徐々に緩和されているものの、ロシアのウクライナ侵攻によって加速したエネルギー・輸入原材料価格の高騰が、企業収益や家計の実質所得及び実質消費を圧迫する状況となっており、当社の主要顧客である外食・小売などのサービス産業は依然として、厳しい環境に置かれています。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ」(以下「MSR」という。))をはじめとしたミステリーショッピングリサーチ事業の国内における売上収益は、前第1四半期と比較し、51.0%増となりました。主な内訳として、MSRは国内の調査数で54.0%増、国内の売上収益で25.0%増、コンサルティング・研修(以下「コンサル」という。)は、国内の売上収益で189.4%増となっております。以上の結果、前第1四半期と比較し、売上収益で47.5%増、営業損益は76,339千円改善し、営業利益24,839千円と黒字に転換しました。第1四半期における営業黒字は、2020年2月期以来3期ぶりとなります。

新型コロナウイルス感染症の業績への影響は逡減しつつあるものの、甚大な状況に変わりありませんが、SaaSの導入やオンライン研修も含めたコンサルが大きく伸長し、引き続き業績をけん引しました。また、MSRは堅調な推移となる中、外食大手のMSRが開始されるなど、ようやく本格的な回復の兆しも見えはじめております。加えて、経済活動の正常化が進むにつれ、MSRやコンサルの再開に向けた引き合いも増加しており、当第1四半期の受注高は、前期で最も高かった前第1四半期の受注高を超え、こちらも堅調に推移しております。

生産面では、外食大手の動向など今後の受注状況を踏まえながら、安定的な役務提供に向け、万全の生産体制を準備してまいります。

管理面では、前第1四半期と比較し、原価が16.4%増、販売費及び一般管理費が10.8%増となりました。原価は、調査数増、売上収益増に伴うモニター謝礼ならびにレポート生産や顧客紹介などに関する外注費などが増加した反面、人員減に伴う労務費の減少、売上収益に占めるコンサル割合の増加や1調査あたりモニター謝礼の減少などにより、売上収益の伸びに対して低い増加率に止まりました。また、販管費は、広告宣伝費や貸倒引当金などが増加したものの、人員減に伴う人件費などが減少したため、こちらも売上収益の伸びに対して低い増加率に止まっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益457,006千円(前年同期比147,262千円増)、営業利益24,839千円(前年同期は51,501千円の営業損失)、税引前四半期利益24,142千円(前年同期は52,457千円の税引前四半期損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益20,376千円(前年同期は26,105千円の親会社の所有者に帰属する四半期損失)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、営業債権及びその他の債権が152,605千円、現金及び現金同等物が69,757千円減少し、その他の無形資産が11,700千円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて227,828千円減少し、3,673,442千円となりました。

負債については、営業債務及びその他の債務が86,082千円、借入金が41,664千円、未払法人所得税等が39,114千円、その他の流動負債が34,523千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて208,775千円減少し、826,065千円となりました。

資本については、親会社の所有者に帰属する四半期利益20,376千円等により、前連結会計年度末に比べて19,053千円減少し、2,847,377千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ69,757千円減少し、1,002,634千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、37,797千円の収入(前年同期は7,601千円の支出)となりました。これは、税引前四半期利益の計上24,142千円、営業債権及びその他の債権の減少額153,460千円、営業債務及びその他の債務の減少額86,307千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、22,747千円の支出(前年同期比4,840千円増)となりました。これは、無形資産の取得による支出21,738千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、83,798千円の支出(前年同期比21,198千円増)となりました。これは、長期借入金の返済による支出41,664千円、配当金の支払額34,695千円、リース負債の返済による支出7,440千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月7日の「2022年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,072,392	1,002,634
営業債権及びその他の債権	318,599	165,994
棚卸資産	6,233	13,856
その他の流動資産	44,144	35,899
流動資産合計	1,441,368	1,218,383
非流動資産		
有形固定資産	12,628	11,708
使用権資産	32,933	25,460
のれん	2,223,891	2,223,891
その他の無形資産	133,443	145,143
その他の金融資産	36,152	32,022
繰延税金資産	20,853	16,834
非流動資産合計	2,459,902	2,455,059
資産合計	3,901,270	3,673,442
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	166,656	166,656
リース負債	30,899	24,460
営業債務及びその他の債務	644,047	557,965
未払法人所得税等	43,208	4,094
引当金	4,369	4,369
その他の流動負債	60,659	26,136
流動負債合計	949,837	783,679
非流動負債		
借入金	69,472	27,808
リース負債	1,120	168
引当金	14,410	14,410
非流動負債合計	85,002	42,386
負債合計	1,034,839	826,065
資本		
資本金	45,000	45,000
資本剰余金	2,009,308	2,009,339
自己株式	△90,185	△88,215
その他の資本の構成要素	△18,486	△23,357
利益剰余金	948,930	934,612
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,894,567	2,877,379
非支配持分	△28,136	△30,002
資本合計	2,866,430	2,847,377
負債及び資本合計	3,901,270	3,673,442

(2) 要約四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)
売上収益	309,744	457,006
売上原価	△255,358	△297,266
売上総利益	54,386	159,740
販売費及び一般管理費	△137,725	△152,636
その他の収益	32,251	17,807
その他の費用	△413	△72
営業利益 (△損失)	△51,501	24,839
金融費用	△956	△697
税引前四半期利益 (△損失)	△52,457	24,142
法人所得税費用	25,148	△3,954
四半期利益 (△損失)	△27,309	20,187
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	618	△4,164
純損益に振り替えられることのない 項目合計	618	△4,164
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,965	△2,384
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△1,965	△2,384
税引後その他の包括利益	△1,347	△6,548
四半期包括利益	△28,656	13,640
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△26,105	20,376
非支配持分	△1,204	△189
四半期利益 (△損失)	△27,309	20,187
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△27,450	15,505
非支配持分	△1,206	△1,866
四半期包括利益	△28,656	13,640
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△5.91	4.70
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△5.91	4.64

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2021年3月1日時点の残高	621,038	1,554,687	△30,544	△15,241	621,094	2,751,033	△26,504	2,724,529
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	△26,105	△26,105	△1,204	△27,309
その他の包括利益	—	—	—	△1,345	—	△1,345	△2	△1,347
四半期包括利益合計	—	—	—	△1,345	△26,105	△27,450	△1,206	△28,656
配当金	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—	—	—	—
2021年5月31日時点の残高	621,038	1,554,687	△30,544	△16,586	594,989	2,723,583	△27,710	2,695,873

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2022年3月1日時点の残高	45,000	2,009,308	△90,185	△18,486	948,930	2,894,567	△28,136	2,866,430
四半期利益	—	—	—	—	20,376	20,376	△189	20,187
その他の包括利益	—	—	—	△4,871	—	△4,871	△1,677	△6,548
四半期包括利益合計	—	—	—	△4,871	20,376	15,505	△1,866	13,640
自己株式の処分	—	32	1,970	—	—	2,002	—	2,002
配当金	—	—	—	—	△34,695	△34,695	—	△34,695
所有者との取引額合計	—	32	1,970	—	△34,695	△32,693	—	△32,693
2022年5月31日時点の残高	45,000	2,009,339	△88,215	△23,357	934,612	2,877,379	△30,002	2,847,377

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△52,457	24,142
減価償却費及び償却費	19,986	19,454
金融費用	956	697
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,244	△7,622
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	267,738	153,460
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△89,961	△86,307
その他	△141,887	△26,708
小計	△2,869	77,115
利息の支払額	△955	△696
法人所得税の支払額	△3,777	△38,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,601	37,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△415	△975
無形資産の取得による支出	△15,563	△21,738
資産除去債務の履行による支出	△1,910	—
その他	△19	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,908	△22,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△34,695
長期借入金の返済による支出	△55,552	△41,664
リース負債の返済による支出	△7,048	△7,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,600	△83,798
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△88,109	△68,749
現金及び現金同等物の期首残高	873,643	1,072,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	△1,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	785,377	1,002,634

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。